

熊本大学の理念

Idea of Kumamoto University

●
本学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、総合大学として、知の創造、継承、発展に努め、知的、道徳的及び応用的能力を備えた人材を育成することにより、地域と国際社会に貢献することを目的とする。



熊本大学の目的

purpose of Kumamoto University

1) 教育

●
個性ある創造的人材を育成するために、学部から大学院まで一貫した理念のもとに総合的な教育を行う。学部では、幅広く深い教養、国際的対話力、情報化への対応能力および主体的な課題探求能力を備えた人材を育成する。大学院では、学部教育を基盤に、人間と自然への深い洞察に基づく総合的判断力と国際的に通用する専門知識・技能とを身につけた高度専門職業人を育成する。また、社会に開かれた大学として、生涯を通じた学習の場を積極的に提供する。



2) 研究

高度な学術研究の中核としての機能を高め、最先端の創造的な学術研究を積極的に推進するとともに、人類の文化遺産の豊かな継承・発展に努める。また、総合大学の特徴を活かして、人間、社会、自然の諸科学を総合的に深化させ、学際的な研究を推進することにより、人間と環境の共生及び社会の持続可能な発展に寄与する。



3) 地域貢献・国際貢献

地方中核都市に位置する国立大学として地域との連携を強め、地域における研究中枢の機能及び指導的人材の養成機能を果たす。世界に開かれた情報拠点として、世界に向けた学術文化の発信に努めることにより、地域の産業の振興と文化の向上に寄与する。また、知的国際交流を積極的に推進するとともに留学生教育に務め、双方向的な国際交流の担い手の育成を目指す。



4) 医学部及び附属病院の理念

医学部及び附属病院については、強い倫理感に基づき、国際的視野から医療・社会医学・医学生物学研究に貢献できる医療人を育てることを目標とし、深い教養と豊かな人間性を有し、生涯にわたって自己研鑽を積むことができる人材を育成する。

Catchphrase

育てよう医学・医療を熊本から



CONTENTS

1. 施設整備の基本方針

1.1 熊本大学の理念・目的・目標

- 1.2. 熊本大学組織図
- 1.3. 大学施設整備の目的・目標
- 1.4. キャンパス計画のコンセプト

2. キャンパス概要

- 2.1 キャンパス位置図
- 2.2 現状施設
- 2.3 経年別建物配置と現状施設データ

3. キャンパス計画・施設整備の将来構想

- 3.1 施設整備の将来構想
- 3.2 キャンパス計画各論
- 3.3 意匠計画の考え方
- 3.4 アメニティ空間の整備計画

4. 将来構想に向けた具体的な整備方針と整備計画

- 4.1 施設整備の方針
- 4.2 施設整備計画

熊本大学の目標

Target of Kumamoto University



1) 教育

■一般教育の充実

一般教育の内容、方法、教育環境及び実施体制について、全学的視点から絶えざる点検・評価、見直しを行い、社会の急激な変化や諸科学の高度化に対応し得るよう、広い視野に立ち、主体的に課題を探索し、総合的に判断する能力を涵養するとともに、幅広く深い教養、豊かな人間性、高い倫理観、社会的行動力を備えた人材の育成を目指す。

■専門教育の充実

学部の専門教育においては、大学院教育との関連で教育内容を精査・整理し、学修目標を明確化するとともに、基礎的な専門学力の強化と専門知識・技術・技能の向上を図り、その専門性によって社会に貢献できる質の高い人材の育成を目指す。

■創造性豊かな高度専門職業人の養成

大学院においては、専門領域の学術を一層深く理解させるとともに、社会人のキャリアアップ教育を含めて、高い専門性を持つ到達目標を設定し、深い洞察力と総合的な判断力によって学術研究の新たな地平を切り開く、個性と創造性豊かな、国際社会で活躍できる高度専門職業人の養成を目指す。

■国際化、情報化に柔軟に対応できる人材の育成

全ての教育課程において、国際的対話力や情報技術活用能力の向上を図るとともに、その教育環境を整備し、我が国の歴史や文化を踏まえながら、国際社会の多様な在り方を理解し、今日の世界が直面する課題の解決に向けて果敢に挑戦する人材の育成を目指す。

■社会に開かれた教育活動の推進

本学の教育目的を踏まえ、子供から高齢者まで幅広い年齢層の人々が本学の教育システム並びに多様な知的資産、知的資源を活用し、生涯を通じて自己啓発を行い、自己実現ができる機会と場を提供し、社会に開かれた教育活動を積極的に推進する。

2) 研究

■国際的に卓越した先導的研究の推進

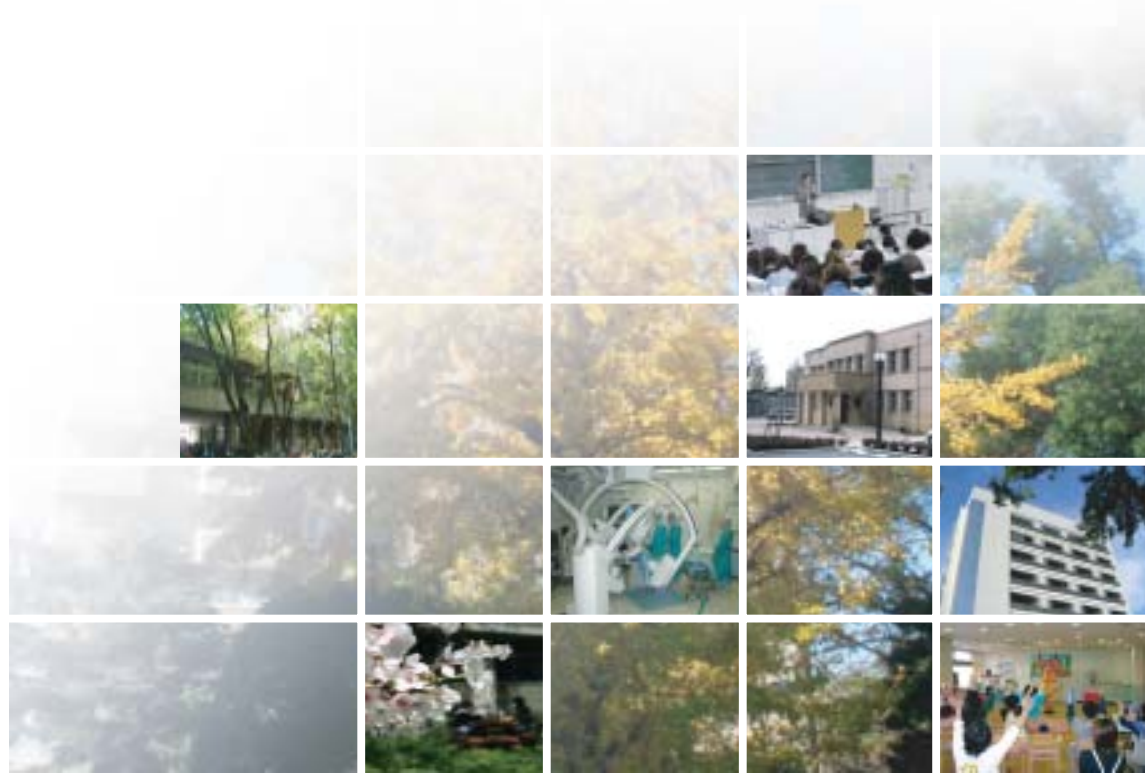
学術研究の中核としての役割を果たすため、適切な人的配置と財政的資源配分を行い、研究環境の整備を図るとともに、国際的な人的交流、学術連携・協力の環を広げ、世界をリードする特色ある先導的研究を推進する。

■個性と創造性のある研究の推進

自由な発想に基づく独創的な学術研究を進展させ、真理の探究、知の継承並びに高度の知識・技術・技能の発展に寄与するとともに、適切な評価に基づいて、継続性を必要とする基礎的・基盤的研究の継承と発展を図る。

■活力ある学際的研究の推進

生命倫理や地球環境問題等、多面的・総合的な視点からの究明や解決が必要な課題については、総合大学としての特徴を活かして、また、必要に応じて外部の関係機関と密接な連携・協力を図りながら、多様な領域を有機的に統合した研究組織を編成して、その課題の解明・解決に取り組む。



3) 地域貢献・国際貢献

■地域社会への貢献

地域社会からの要請を的確に把握し、研究成果の公開、人的交流、諸施設の開放等を通して、産業創成、地域経済振興、教育及び文化の向上、医療・福祉の増進等に積極的に貢献するとともに、教育面における社会サービスの充実を図り、地域に開かれた大学としての役割を果たす。

■国際交流の推進

世界に開かれた情報拠点として、各国の大学や研究機関と学術的・文化的交流を積極的に推進するとともに、本学学生を国際社会に送り出し、留学生教育とその支援体制を充実することによって、学術文化の国際的発展に貢献する。

■情報公開と広報の推進

大学に対する社会的要請を常に把握しつつ、本学の理念、目的、目標、入学者受入方針、教育内容、研究内容、地域貢献・国際貢献の状況等、社会が求める情報を公表するとともに、地域社会と国際社会に向けて広範な広報活動を積極的に行う。

CONTENTS

1. 施設整備の基本方針

1.1 熊本大学の理念・目的・目標

- 1.2. 熊本大学組織図
- 1.3. 大学施設整備の目的・目標
- 1.4. キャンパス計画のコンセプト

2. キャンパス概要

- 2.1 キャンパス位置図
- 2.2 現状施設
- 2.3 経年別建物配置と現状施設データ

3. キャンパス計画・施設整備の将来構想

- 3.1 施設整備の将来構想
- 3.2 キャンパス計画各論
- 3.3 意匠計画の考え方
- 3.4 アメニティ空間の整備計画

4. 将来構想に向けた具体的な整備方針と整備計画

- 4.1 施設整備の方針
- 4.2 施設整備計画